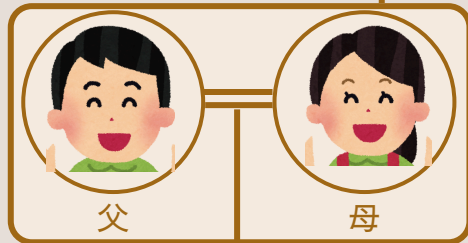
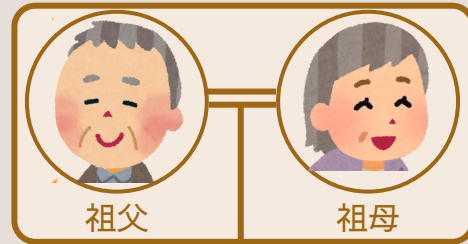


扶養している「子ども」の数について

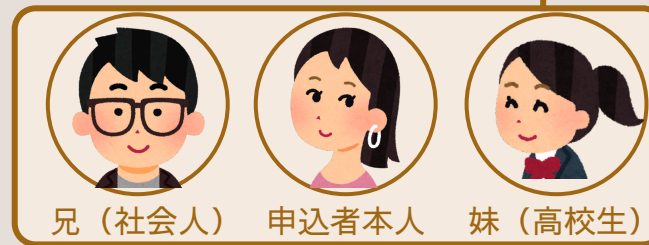
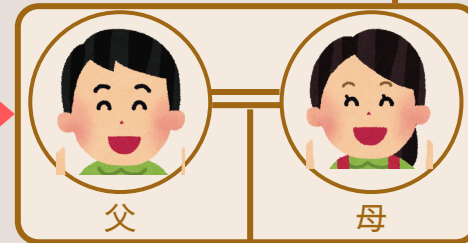
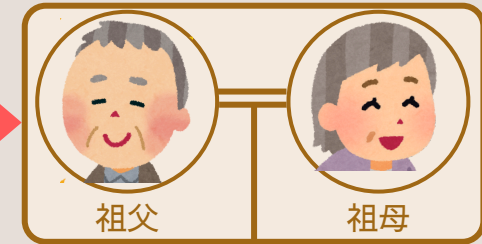
パターン1



2023年12月31日時点で父に扶養されている「子ども」の数が3人なので、多子世帯に該当します。

2023年12月31日以降（2024年1月1日～2025年3月31日の期間）に新たに生まれた生計維持者の実子は、「子ども」の数に加えることができます。該当する場合は大学に申告してください。

パターン2



祖父・祖母は尊属なので、扶養親族であっても「子ども」の数には含まれません。

配偶者は扶養親族であっても「子ども」の数には含まれません。

母が扶養する母の弟（おじ）は母より年下なので「子ども」の数に含まれます。

兄が現時点で社会人であっても2023年12月31日時点で扶養されていれば「子ども」の数に含まれます。

2023年12月31日時点で父に扶養されている「子ども」3人と、母に扶養されている「子ども」1人の合算で「子ども」の数は4人となります。「子ども」の数が3人以上なので、多子世帯に該当します。
※兄が2023年12月31日時点で扶養から外れても「子ども」の数が3人なので多子世帯に該当します。